

女性活躍推進フォーラム開催事業【滋賀県彦根市】

地域の実情と課題

市内事業所での女性の管理職の割合は約1割と少ない状況であり、女性活躍推進への支援・啓発が急務である。さらに、子育てをしながら働く女性が増えている中、依然として、家庭生活における女性の負担が大変大きい状況が続いている。長時間労働が当たり前の働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスの推進、働き方改革などにより、女性が活躍できる社会を実現する必要がある。

目的・目標

女性活躍を推進するためには、固定的な役割分業意識を払拭し、男性の積極的な家庭生活への参画が必要不可欠であり、従来の働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、市内事業所の経営者や管理職の意識改革を目的に実施する。

[目標]フォーラム参加者数 300人(達成状況 120人)
滋賀県イクボス宣言市内企業登録数
11社(H29年末)→25社(達成状況 15社)

事業の特徴

市内事業所の経営者や管理職を対象に、講演会を開催し、イクボスについての理解を深め、ワーク・ライフ・バランスの推進、さらには、女性が活躍できる社会の実現に向けて意識啓発を図った。

また、講演会の講師をコーディネーター、市男女共同参画推進事業者表彰受賞者をパネリストとして、パネルディスカッションを行い、先進的な取組事例を広く周知した。

連携団体

女性活躍推進フォーラム協議会

(学識経験者、産業団体関係者、行政機関関係者、金融機関関係者、労働団体関係者、農林水産団体関係者、教育機関団体関係者)

事業の効果

フォーラム参加者アンケートでは、ほとんどの参加者から「大変参考になった」「参考になった」、イクボス宣言については「必要」と回答いただき、参加者の理解は得られた。一方、「民間企業で上手くいくのか」「人材を増やさないと」といった感想もあり、今後、具体的な取組手法を学ぶ必要がある。

フォーラムを開催したことで、市内を所在地としている滋賀県イクボス宣言企業登録者数は3社増え、15社となった。

今後の課題

女性活躍推進のためイクボス宣言を行う事業所を増やす必要があり、イクボス宣言の必要性を啓発するとともに、働き方の見直しやワーク・ライフ・バランスの具体的な取組手法について学ぶ機会を提供する必要がある。また、各事業所にワーク・ライフ・バランスやイクボス宣言、女性活躍に取り組むメリットを感じてもらう必要がある。

事業の概要

女性活躍推進フォーラム

(日時)平成30年9月29日 13時00分～15時00分
(場所)ひこね市文化プラザ エコーホール

I 講演会

テーマ:イクボスによる“働きたい”“働き続けたい”会社づくり

講師:NPO法人ファザーリング・ジャパン

代表理事 安藤哲也さん



II パネルディスカッション

テーマ:わたしの会社自慢

パネリスト:(株)オオミ建設

滋賀中央信用金庫

(株)千成亭

彦根市立病院



III イクボス宣言

彦根市、(株)オオミ建設、(株)千成亭

